

# 京急電鉄 1500形

## 共通組み立て説明書

### 警告

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息などの危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ランナー上のパーツは、機能上、尖っていますので危険です。
- ランナー上のパーツは、機能上、縁部(エッジ)が鋭くなっていますので危険です。

### 注意

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ペースメーカーをご使用の方は、マグネットカブラー(連結器)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカブラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

### 組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っこ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- ステッカーは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

(お買い上げのお客様へ) 不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 バンダイお客様相談センター  
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル **0570-041-101**

● 受付時間 10時～17時(祝日、夏季・冬季休業日を除く)  
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

《商品・修理品送付先》 バンダイ 栃木修理・配送センター  
〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67

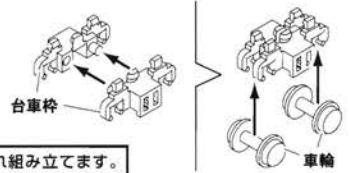
● 営業時間 10時～17時(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客様相談センター共通

### シャーシの組立て

#### 1 <台車の組立>

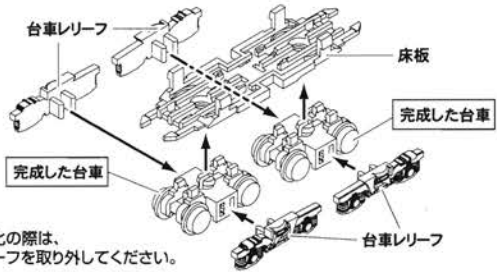
\*台車枠と台車枠を合わせて、車輪を取り付けます。

\*前・後2組の台車を、それぞれ組み立てます。



#### 2 <シャーシの完成>

\*出来上がった台車の5箇所のツメを床板に通します。  
\*台車レリーフを取り付けます。



\*Nゲージ化の際は、台車レリーフを取り外してください。

### 台車レリーフの向きに注意。



### カブラーの取付け方



- マグネットカブラー  
\*磁石で連結・開放ができます。(磁性(S-N)があるので、連結する向きに注意してください。)
- ドローバー  
\*2両を固定連結します。
- ダミーカブラー  
(先頭車正面などに使用します。連結はできません。)

## Nゲージ化用パーツの取り付け方法

\*各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビショップなどでお買い求めください。

\*BTレインジョーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

### ①機関車への動力ユニットの取り付け

- 「BTレインジョーティ専用・動力ユニット」**1** (機関車用)を使用します。  
通常色(黒)と、グレーがあります。
- \*床板前後の穴と、左右2箇所の爪で、車体と固定します。

- \*床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- \*スノープロウは着脱可能です。(カブラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けてください。)
- \*EF200、EF210、DD53などでは、車体長が長いのでカブラーの首振り量が充分にできません。重連運転や、極小カーブ、Sカーブ上では、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

### ②電車・気動車及び路面電車への動力ユニットの取り付け

- 「BTレインジョーティ専用・動力ユニット」**2** (電車・気動車用)もしくは「同 動力ユニット」**3** (路面電車用)を使用します。

- \*左右4箇所の爪で、車体と固定します。
- \*ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

\*イラストは「動力ユニット」**2** (電車・気動車用)です。「動力ユニット」**3** (路面電車用)には前後のカブラーはありません。  
\*床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。  
\*台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。  
(追加ウェイトは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

### ③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

- 「BTレインジョーティ専用・走行台車」**4**を使用します。
- \*台車部分を外して(床板は付けたまま)、走行台車をセンターピン穴に装着してください。取り付けがゆるい場合には、走行台車の取り付けピンを上げて調整してください。
- \*台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- 旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカブラー台座と車輪止めピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

- \*台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。
- \*スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカブラー部分を切り取ってください。
- \*新幹線など車体裾にカバーのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

- \*SHGフレームでは、Nゲージ化する場合はブロックパーツのうちカブラー取り付けの「ピンなし」を使用します。(または、ピンを切り取ってください。)
- \*先頭車でスカートとダミーカブラーをつける場合では、ブロックパーツは「ピンあり」を使用して、走行台車のカブラー部分を切り取ってください。

- Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。
- 線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
- Nゲージにおける使用方法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。
- 走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
- 動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自動車含む)することができます。(勾配区間や急カーブのある線形では、牽引できる両数が制限されます。)

### ■ KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

- ①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください) \*EF64e、DF50、DD53など、極の低い車両に装着できません。
- 品番11-103 ポケットライン用動力ユニット

\*11-103は、購入時にはカブラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

- ②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)
- 品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ 通勤電車① コイルバネ台車タイプ DT33タイプ 103系など
- 品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ 急行電車① 空気バネ台車タイプ DT32タイプ 165系、485系など
- 品番11-107 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ 通勤電車② ポルスタレス台車タイプ DT61タイプ E231系など

\*「チビ客車用動力ユニット」は、手すりを切り取って装着します。(車両によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)

- ③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)
- 品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
- 品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
- 品番11-097 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ

このほか、割りピン取り付け方式の、各社台車を取り付けることができます。

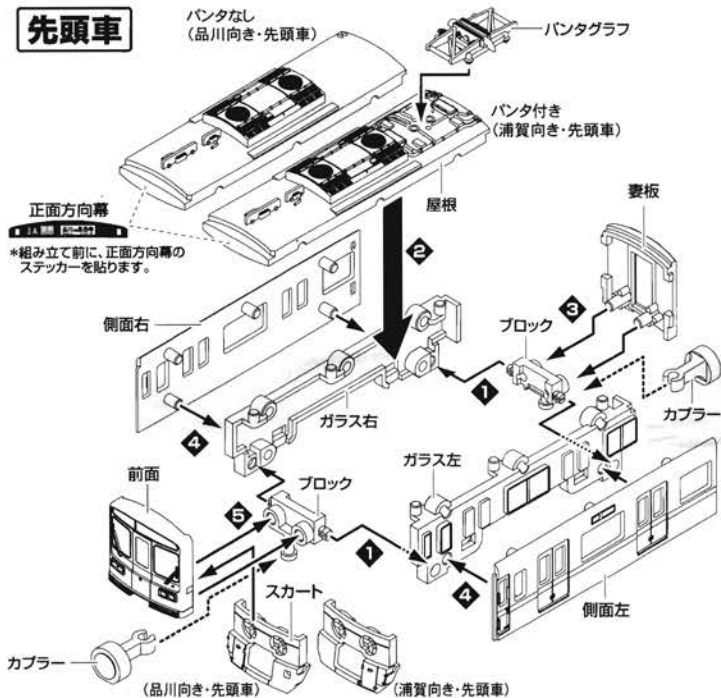
### ■パンタグラフの交換

- \*お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。
- KATO:11-401 PS14:直流パンタグラフ グリーンマックス:80-2:PS13:直流パンタグラフ
- KATO:11-403 PS22:直流・下幹交差形パンタグラフ グリーンマックス:80-3:PT42:直流パンタグラフ
- KATO:11-404、11-420 PS16:直流パンタグラフ グリーンマックス:80-5:PT43:直流パンタグラフ
- クロスポイント:PT71C:シングルアーム・パンタグラフ
- \*11-420は、屋根穴が4箇所の屋根に対応します。

このほか、取り付けピンが2本方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。  
\*各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる(緩い)場合もありますので、それぞれ調整のうえ取り付けてください。またパーツによっては加工が必要なものもあります。  
\*動力ユニットの装着には、車種によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

# 先頭車

パンタなし  
(品川向き・先頭車)

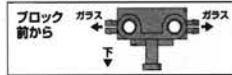


\*組み立て前に、正面方向幕のステッカーを貼ります。

\*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。前面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。  
\*また生産の都合上、予備パーツが含まれている場合があります。あらかじめご了承ください。

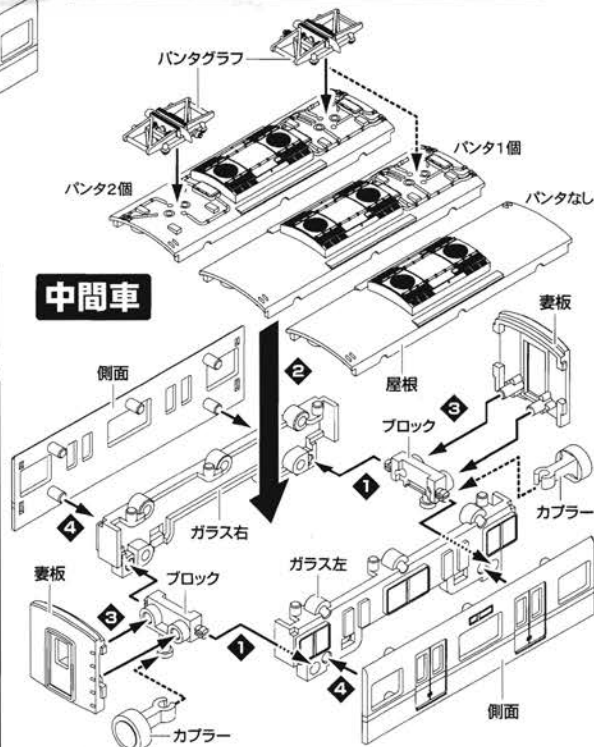
# 車体の組立て

- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。  
\*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。
- ②屋根を取り付けます。  
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③妻板を取り付けます。  
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④左右の側面を取り付けます。
- ⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。  
(中間車は完成です。)
- ⑥先頭車は前面を取り付けて完成です。  
(スカート付きの車両は、先にスクートを前面に取り付けます。)
- ⑦カプラーを最後にブロックのピンに取り付けます。



\*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

# 中間車



## 実車の編成例

\*時期によって、編成や車体形状は変化していますのでご注意ください。

\*更新前の貫通扉の位置 (更新後は、各車・浦賀寄りに設置)

一浦賀	M1c 1500	M2 1500	Tu 1900	Ts 1900	M1' 1500	M2' 1500	M1 1500	M2c 1500	品川 (VVVF車)
1701	1702	1919	1920	1703	1704	1705	1706		
1707	1708	1921	1922	1709	1710	1711	1712		
1713	1714	1923	1924	1715	1716	1717	1718		
1719	1720	1907	1908	1721	1722	1723	1724		(更新後 2009年2月まで完了)
1725	1726	1909	1910	1727	1728	1729	1730		*妻板空埋め。
1731	1732	1918	1914	1733	1734	1735	1736		*各車浦賀寄りに貫通扉設置。

## (界磁チョッパ車)

\*先頭車は、当初スカートなし。  
\*1501,1601,1631編成の中間2両は、VVVF編成へ組み込み6連化および更新。(M1'の浦賀寄り1両は一時撤去。)  
\*1613,1619,1625,1631編成は、6連化および更新。後にVVVF化。  
\*1643,1649編成は、6連化。後にVVVF化と同時に更新。  
編成の中間2両は、4連に組み込み6連化。

M1c 1500	M2 1500	Tu 1900	Ts 1900	M1' 1500	M2' 1500	M1 1500	M2c 1500
1601	1602	1907	1908	1603	1604	1605	1606
1607	1608	1909	1910	1609	1610	1611	1612
1613	1614	1901	1902	1615	1616	1617	1618
1619	1620	1903	1904	1621	1622	1623	1624
1625	1626	1905	1906	1627	1628	1629	1630
1631	1632	1911	1912	1633	1634	1635	1636
1637	1638	1918	1914	1639	1640	1641	1642
1643	1644	1915	1916	1645	1646	1647	1648
1649	1650	1917	1918	1651	1652	1653	1654

## (界磁チョッパ車)

M1c 1500	M2 1500	M1 1500	M2' 1500	M1' 1500	M2c 1500
1529	1530	1617	1616	1531	1532
1533	1534	1625	1624	1535	1536
1537	1538	1629	1628	1539	1540
1541	1542	1647	1646	1543	1544
1545	1546	1655	1654	1547	1548
1549	1550	1663	1662	1551	1552

更新・6連化 (2008年3月完了)

\*先頭車にスカート取り付け。  
\*妻板空埋め。  
\*各車浦賀寄りに貫通扉設置。

## VVVF改造車 (VVVF改造車)

M1c 1500	M2 1500	Tu 1900	Ts 1900	M1' 1500	M2 1500
1529	1530	1661	1662	1531	1532
1533	1534	1669	1668	1535	1536
1545	1546	1687	1686	1547	1548
1549	1550	1695	1694	1551	1552
1601	1602	1625	1624	1603	1606
1607	1608	1627	1628	1609	1612
1637	1638	1629	1630	1639	1642

(2011年8月施工) \* M1, M2'の2両はサハ化・番号変更。  
(2012年10月施工) \* M1'車は2両サハ化。  
(2011年2月施工) (2012年2月施工)  
\* M2', M1'の2両はサハ化・番号変更、位置を入れ替え。  
\* M1'車は浦賀寄りパンタ復活。

## 妻板について

未更新車:妻面窓あり  
\*貫通扉は1両おき・浦賀寄り (扉位置は、編成例を参照)  
銘板あり・扉なし  
先頭車(全車)  
中間車(全車・品川寄り)

銘板なし・扉なし  
中間車(品川寄り・全車)  
(浦賀寄り:1両おき)

銘板なし・扉あり  
中間車(浦賀寄り:1両おき)

更新車:妻面窓なし  
\*貫通扉は全車・浦賀寄り  
銘板あり・扉なし  
先頭車(浦賀向き・M1c)  
中間車(全車・品川寄り)

銘板あり・扉あり  
先頭車(品川向き・M2c)

銘板なし・扉あり  
中間車(全車・浦賀寄り)

## ステッカーの貼付け位置

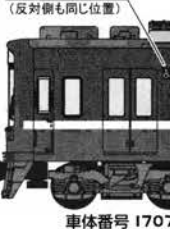
\*貼り付け位置の参考例です。台紙から好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。  
(写物のお取り扱いには、充分にご注意ください。記載の無いものはお好みの位置にお貼りください。)

### 先頭車 (更新後)



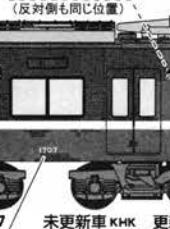
車体番号 1707

### 車椅子マーク (反対側も同じ位置)



車体番号 1707

### 優先席マーク (更新前は反対側のみ) (反対側も同じ位置)



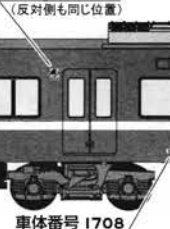
未更新車 KHK

### 反対側



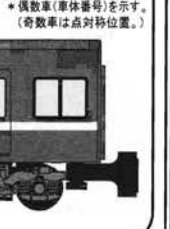
更新車 KEIKYU  
未更新車 KHK

### 優先席マーク (更新前はこちら側のみ) (反対側も同じ位置)



車体番号 1708

### 中間車 (更新後)



\*偶数車(車体番号)を示す。  
(奇数車は点対称位置。)

## 車体番号(小サイズは正面用)

1611	1612	1649	1654	1707	1712	1716	1724	1731	1736
1611	1612	1649	1649	1707	1707	1716	1719	1731	1731
1612	1614	1650	1650	1708	1708	1720	1720	1732	1732
1611	1611	1617	1617	1821	1821	*1907	1907	*1913	1913
1901	1902	1918	1918	1922	1922	*1908	1908	*1914	1914
1613	1615	1651	1651	1709	1709	1721	1721	1733	1733
*1616	1616	*1852	1852	1710	1710	1722	1722	1734	1734
*1617	1617	*1853	1853	1711	1711	1723	1723	1735	1735
1618	1618	1854	1854	1712	1712	1724	1724	1736	1736
1521	1522	1545	1545	1549	1552	1601	1606	1637	1642
1529	1529	1545	1545	1549	1549	1601	1601	1637	1637
1571	1570	1546	1546	1550	1550	1602	1602	1638	1638
*1935	1931	*1939	1939	*1941	1941	1603	1603	1639	1639
*1932	1932	*1940	1940	*1942	1942	*1604	1604	*1940	1640
1521	1521	1547	1547	1551	1551	*1605	1605	*1841	1641
1531	1530	1546	1546	1552	1552	1606	1606	1642	1642

## 優先席・車椅子マーク



## 弱冷房車



## KHKマーク



## KEIKYUロゴ



## 前面・種別方向幕

